

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年4月10日（水）

2 確認箇所

測定・確認用設備（K4タンクエリア）、移送設備（多核種移送設備建屋、処理水移送配管）、希釈・放水設備（5・6号機敷地護岸ヤード）

3 確認項目

ALPS処理水希釈放出設備の現況

4 確認結果の概要

令和6年度第1回目（通算5回目）のALPS処理水の放出が予定されていることから、ALPS処理水希釈放出設備の現況を確認した。（図1）

なお、今年度のALPS処理水放出は、年間放出回数7回、年間放出水量54,600 m³、年間トリチウム放出量約14兆ベクレルを計画している。

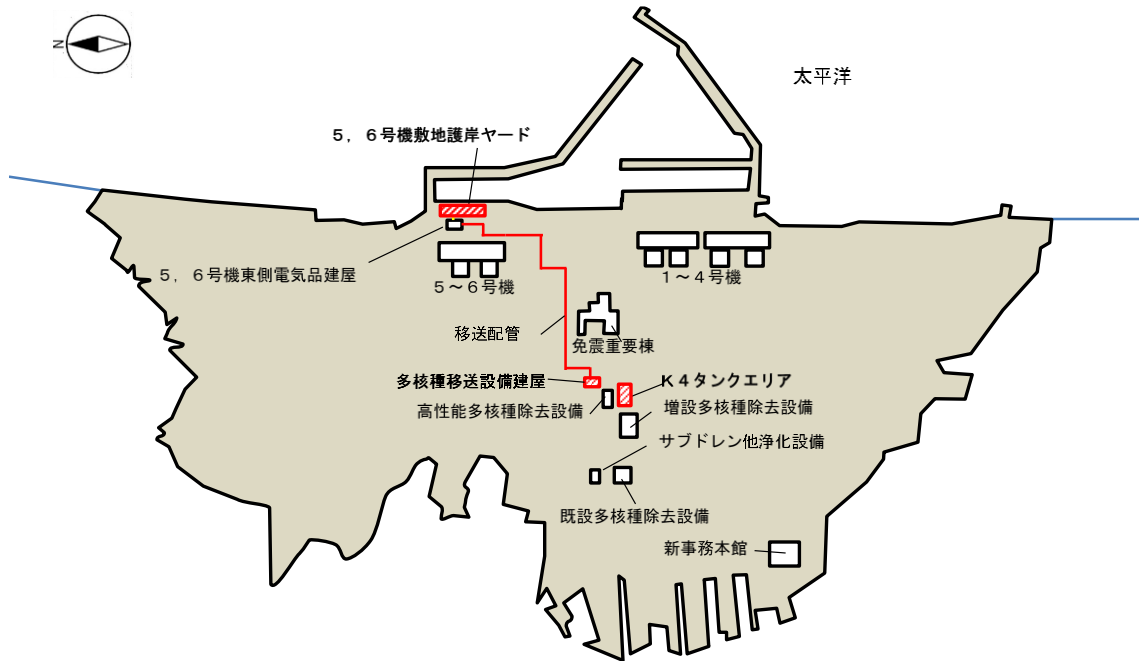
- ・測定・確認用設備は、タンク10基（合計容量約10,000 m³）×3群で構成され、それぞれ「受入」、「測定・確認」、「放出」の3工程をローテーションしながら運用している（写真1）。各タンク群の状態は、以下のとおり。

A群：第2回目（通算6回目）放出のALPS処理水を貯留中。測定のためのサンプリングを3月25日に実施済み（3月25日確認）。ALPS処理水の「測定・確認」を実施中。5月～6月に放出予定。

B群：第3回目（通算7回目）放出のALPS処理水をK1タンクエリアから移送中。ALPS処理水の「受入」を実施中。6月～7月に放出予定。

C群：第1回目（通算5回目）放出のALPS処理水を貯留中。測定のためのサンプリングを2月29日に実施済み（2月29日確認）。ALPS処理水の「測定・確認」を実施中。4月～5月に放出予定。

- ・処理水移送ポンプ及び海水移送ポンプは停止していた。処理水移送ポンプ、処理水移送配管、海水移送ポンプ、海水配管ヘッダ、緊急遮断弁等を確認したところ、漏えい等の異常は認められなかった。（写真2）
- ・ALPS処理水の放出が停止しているため、放水立坑（上流水槽）から放水立坑（下流水槽）に水は流れていなかった。（写真3）



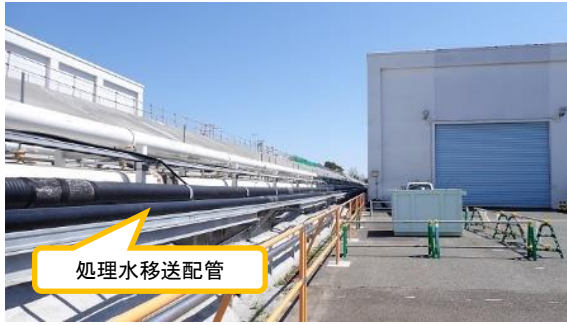
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
測定・確認用設備 (K4タンクエリア)



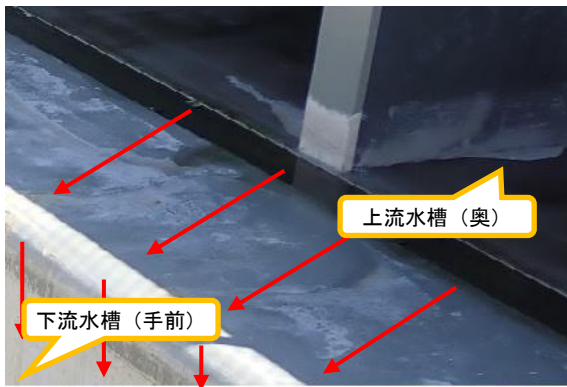
(写真2-1)
処理水移送ポンプ



(写真 2 - 2)
処理水移送配管



(写真 2 - 3)
海水配管ヘッド



(写真 3)
放水立坑 (上流水槽、下流水槽)

←
放出がある時の水の流れ

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。